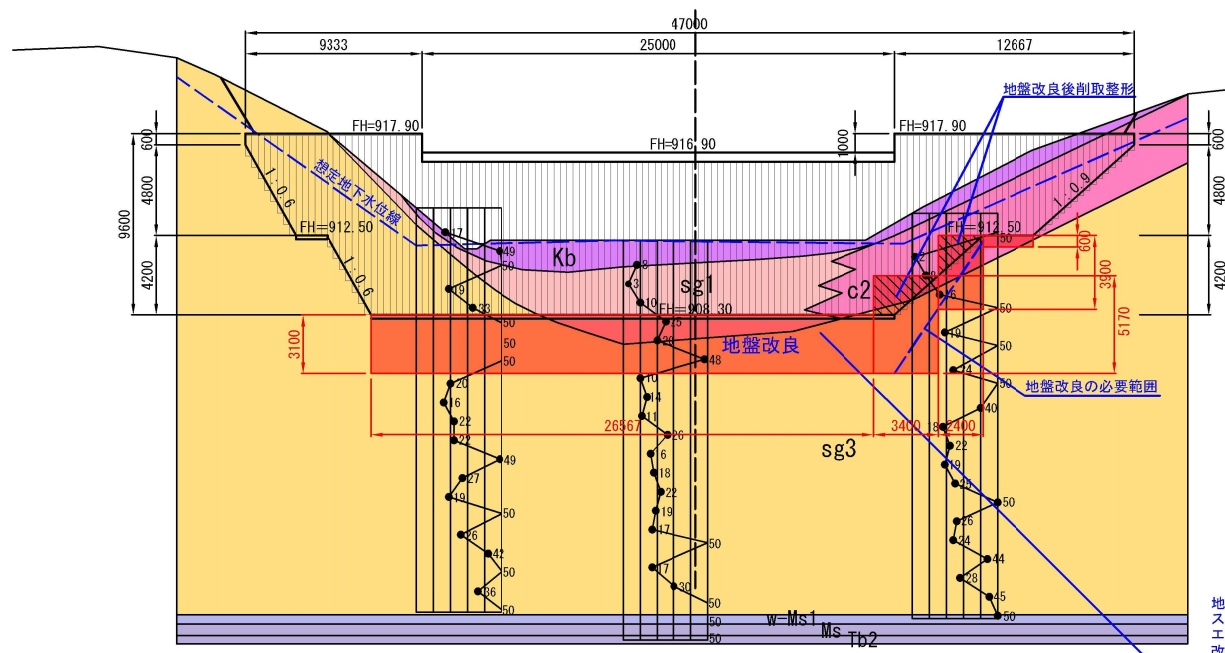


5、6、7調整池 地盤改良計画断面図

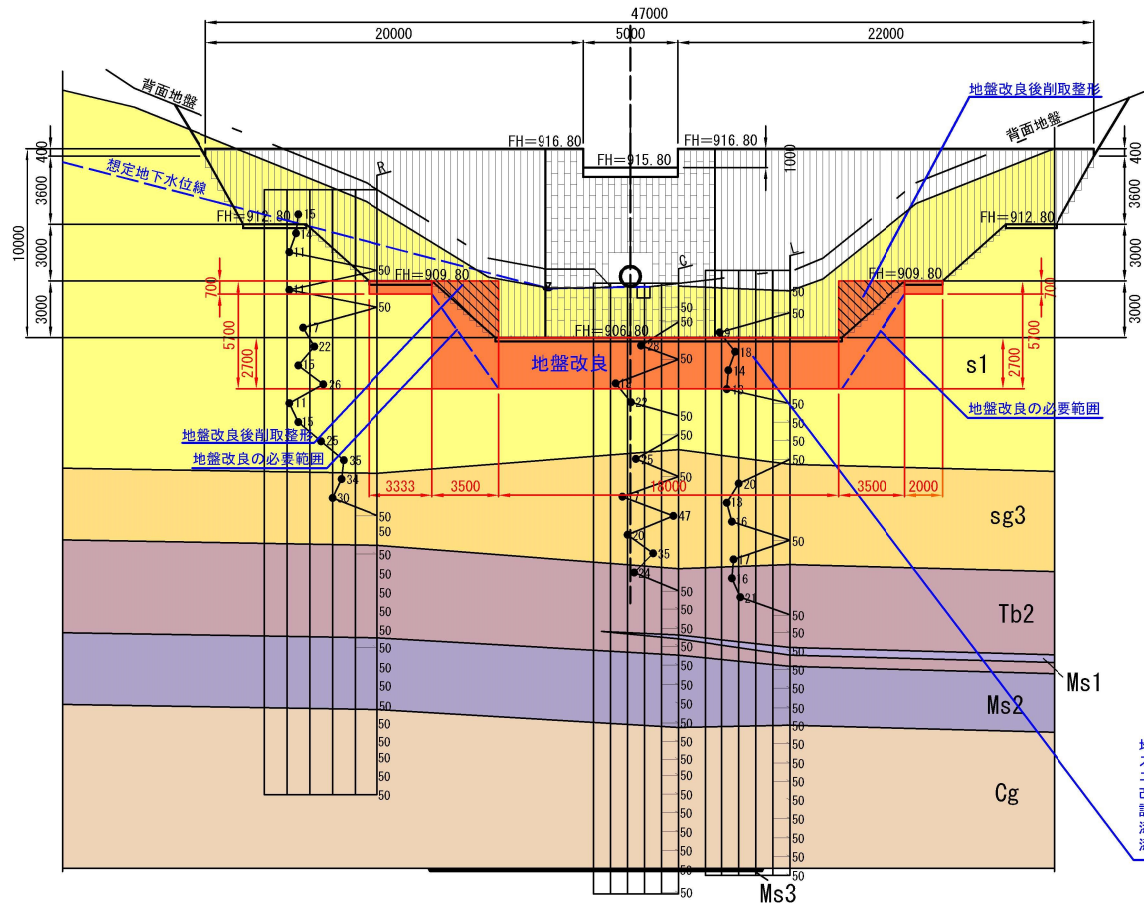
No.5調整池 地盤改良計画断面図 S=1:400



土層記号	主な土質名	N値 min~max 平均・標準偏差	代表N値 N	単位体積重量 kN/m ³	内部摩擦角 度	粘着力 kN/m ²	変形係数 kN/m ³	許容支持力 kN/m ²
Kb	黒ボク	6	6	14	0	36	16,800	—
c2	(玉石混じり) 礫混じり火山灰質 砂質シルト	2~16 (9・5)	2	18	0	12	5,600	—
sg1	砂礫	3~10 (7・4)	3	18	25	0	8,400	—
sg3	(玉石混じり) シルト質砂礫	10~40 (23・19)	19	19	33	0	53,200	196
w-Ms1	風化泥岩	60	60	18.5	21	194	179,316	294
Ms1	泥質シルト質互層 (風化礫岩)	167	167	20.2	21	360	363,388	294
Tb2	凝灰岩	100	100	19.3	21	264	255,092	294

地盤改良工
 スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工
 エルニード工法
 改良深：図示（フローティング形式）
 設計基準強度：600kN/m²
 添加材：配合試験により決定するものとするが、暫定的に特殊土用セメント系固材とする。
 添加量：配合試験により決定するものとするが、暫定的に250kg/m³とする。

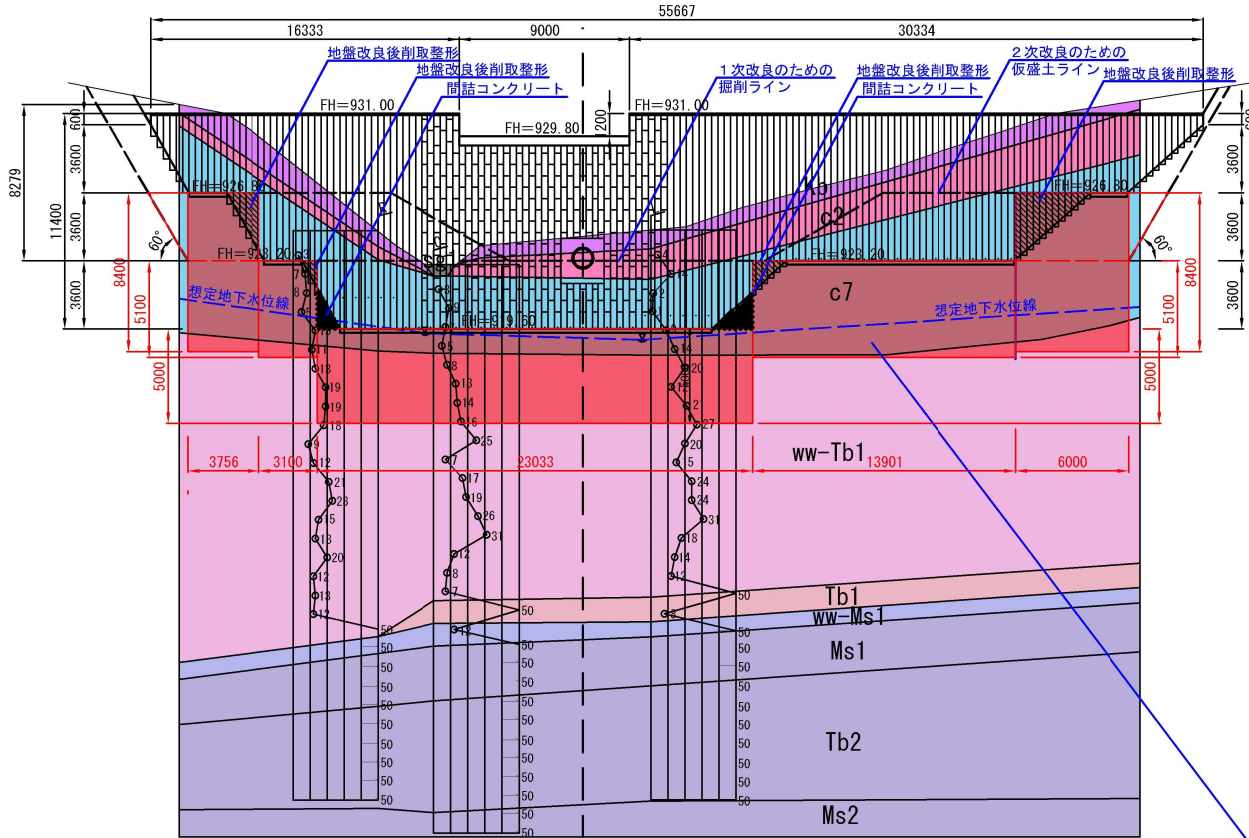
No. 6調整池 地盤改良計画断面図 S=1:400



土層記号	主な土質名	N値 N ₁₀ ~max 平均・標準偏差	代表N値 N	単位体積重量 kN/m ³	内部摩擦角 度	粘着力 kN/m ²	変形係数 kN/m ²	許容支持力 kN/m ²
Kb	黒ボク	—	—	14	—	—	—	—
c2	(玉石混じり) 燧石り火山灰質 砂質シルト	—	—	14	—	—	—	—
s1	(玉石混じり) 燧石り シルト質砂	3~50以上 (20・14)	14	19	34	0	39,200	—
sg3	(玉石混じり) シルト質砂礫	9~47 (25・20)	20	19	34	0	56,000	196
Tb2	凝灰岩	68~188以上 (104・82)	83	19.0	21	236	224,316	294
Ms1	泥岩シルト岩互層 (泥岩優勢)	75	75	18.9	21	222	209,164	294
Ms2	泥岩シルト岩互層 (泥岩優勢)	63~188以上 (121・103)	100	19.3	21	264	255,092	294
Cg	礫岩	52~300以上 (262・222)	222	20.7	41	89	442,264	294
Ms3	泥岩シルト岩互層 (泥岩優勢)	94	94	19.2	21	254	244,432	294

地盤改良工
スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工
エルニード工法
改良深：図示（フローティング形式）
設計基準強度：600kN/m²
添加材：配合試験により決定するものとするが、暫定的に特殊土用セメント系固着材とする。
添加量：配合試験により決定するものとするが、暫定的に250kg/m³とする。

No. 7調整池 地盤改良計画断面図 S=1:400



土層記号	主な土質名	k値 min~max 平均・標準偏差	代表N値 N	単位体積重量 kN/m ³	内部摩擦角 度	粘着力 kN/m ²	変形係数 kN/m ²	許容支持力 kN/m ²
Kb	黒ボク	—	—	14	—	—	—	—
sg1	シルト混じり砂礫	—	—	18	—	—	—	—
c2	火山灰砂質シルト 凝結しり火山灰質 砂混じりシルト	3~12 (6・4)	3	17	0	18	8,400	—
c7	凝結しり 砂質シルト	1~9 (6・4)	4	17	0	24	11,200	49
ww-Tb1	強風化凝灰岩	7~31 (17・14)	14	18	32.2	0	39,200	—
Tb1	凝灰岩	35~100以上 (83・70)	65	18.6	21	203	189,500	294
ww-Ms1	強風化泥岩	8~12 (11・10)	8	18	0	48	22,400	49
Ms1	泥岩シルト交互層 (泥岩優勢)	115~300以上 (180・156)	156	20.1	21	346	346,700	294
Tb2	凝灰岩	79~300以上 (147・108)	108	19.5	21	277	269,004	294
Ms2	泥岩シルト交互層 (泥岩優勢)	115~300以上 (191・158)	158	20.1	21	348	349,760	294

地盤改良工
 スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工
 エルニード工法
 改良深：図示（フローティング形式）
 設計基準強度：600kN/m²
 添加材：配合試験により決定するものとするが、暫定的に特殊土用セメント系固材とする。
 添加量：配合試験により決定するものとするが、暫定的に250kg/m³とする。